

杉山の地質と天然杉群（大江山山系） 泉州労山 大西清見

日 時：2023年6月5日（月）

天 候：晴れ

参加者：大西清見、他2名

コースタイム：高石市 6：15＝（阪神高速、京都縦貫自動車道）＝旧大江山スキー場跡 9：40…

林道終点、古代杉 10：10…宇野ヶ岳 11：20…杉山 12：10…スキー場跡 13：43＝帰阪

京都府宮津市の南西に大江山があります。大江山といえば「大江山いく野の道の遠ければ…」の和歌と酒呑童子で知られる山ですが、近年、同じ山系の杉山(697m)の橄欖岩の特殊な地質と杉の巨木群で注目されています。今回もその杉山に、「杉山エコガイドの会」より案内をいただいて高石の山仲間3名で行くことに。参加者は総勢9名、歩いたルートは林道～古代杉～宇野ヶ岳～杉山～林道終点でした。

杉山直下の林道沿いには多くは蛇紋岩（じゃもんがん）、橄欖岩（かんらんがん）の岩盤が現れます。節理に沿って雨水が浸透してしまうため、侵食が進まず、谷ができないそうです。そのため山容は穏やかで典型的な小起伏地形となっています。この特異な地形は杉山の山麓から眺めても縦断する林道より上部の山で確認できました。また、この傾向は地形図上で等高線の形状から橄欖岩の分布を読み取ることができるほどです。地質、山容、地形図から谷のない山を考察していくことは、また違った登山の楽しみでした。

杉山には名前の通りスギの巨木が点在し、その巨木は古代杉とよばれています。杉山エコガイドの会の方にお聞きすると2022年現在130本の巨木が確認されているとのこと。高さ2～3mくらいで何度も伐採されているために、いわゆる「あがりご」の様相を呈するものが増えていったようです。雨水は浸透するが、雪や霧が多いために、湿度が高く、そのため伐採してもまた萌芽を繰り返して写真のような巨木ができるらしい。古代杉はその形相から「出船杉、美女杉、バンザイ杉、キリン杉、弁慶杉、千手観音杉、天狗大杉…」など色々な名前が付けられていました。古代杉は古いものは樹齢400年以上と言われています。

（注）杉山のスギは針状の葉が軟らかく内に曲がっている、枝がしなやかなど日本海側に見られるウラスギの特徴を持ち、更新は種によるものが多い。近年の遺伝子の研究から氷河期を生き延びた「古代杉」の可能性があるとされ、宮津杉山のスギの天然杉は遺伝資源の観点から注目されそうです。



杉山のスギの 巨木、古代杉とよんでいる



巨木杉の側にはタツナミソウの群落も